Rotary
大和高田ロータリークラブ

持続可能な
インパクトを
生み出そう

Weekly Bulletin

ガバナー月信はこちら↓
最新号から過去の分まで
ご覧頂けます。

2026-27年度　第2650地区スローガン
「新しい扉を開く」
－ 成長と持続のバランスをととのえる一年に －

第2650地区〔1961.3.28創立〕

YAMATOTAKADA ROTARY CLUB

会長	辻　修
副会長	杉垣輝樹
幹事	藤井宏典
会報・資料委員長	堀内邦郎

クラブHP http://yamatotakadarc.org/　アドレス ytrotary@abelia.ocn.ne.jp
地区HP http://rid2650.gr.jp/　Facebook https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/

例会日時：毎週火曜日 12時30分　例会場所：経済会館 3階大ホール
事務所：〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

第14回（通算3094回）2026年（令和8年）11月10日号

ようこそ
平野洋一ガバナー



大和高田ロータリークラブ会員一同は、
平野洋一ガバナーの公式訪問を心から
歓迎申し上げます。

平野洋一ガバナープロフィール

所属ｸﾗﾌﾞ	福井ロータリークラブ
生年月日	1960年8月23日生
最終学歴	1984年3月　新潟薬科大学薬学部卒業（薬剤師）
職業	平野純薬株式会社　代表取締役会長 真晃ELS株式会社　代表取締役 株式会社エイチアンドケー　代表取締役社長 株式会社クレハ　代表取締役社長 （平野グループ　代表）
職業分類	医薬品販売

◎ロータリー歴

（クラブ関係）

2007年8月2日	福井ロータリークラブ入会
2009-10年度	副幹事
2010-11年度	幹事
2012-13年度	理事 新世代担当
2014-15年度	理事 青少年奉仕担当
2015-16年度	理事 クラブ奉仕担当
2016-17年度	副会長
2017-18年度	会長
2020-21年度	幹事

（地区関係）

2022-23年度	国際交流委員会　委員
2024-25年度	福井第1グループ担当ガバナー補佐

（その他）

ロータリー米山記念奨学会　米山功労者第10回メジャードナー
ロータリー財団　メジャードナー

◎職歴

1984年 4月	第一製薬株式会社（現、第一三共）入社
1991年 11月	平野純薬株式会社入社
2000年 4月	株式会社エイチアンドケー設立　代表取締役社長　就任
2005年 10月	平野純薬株式会社　代表取締役就任
2012年 4月	真晃ELS株式会社設立　代表取締役就任
	平野グループ代表就任
2025年 8月	平野純薬株式会社　代表取締役会長就任
2026年 2月	株式会社クレハ　代表取締役社長就任

◎団体現職

福井商工会議所　副会頭
福井経済同友会　副代表幹事
芦原ゴルフクラブ　理事　etc.

本日の例会（11月10日）

ガバナー公式訪問
国際ロータリー第 2650 地区
2026-27 年度ガバナー　平野洋一　様

次回の例会（11月17日）

第2回クラブフォーラム（職業奉仕委員会）

エッセンシャルワーカー表彰

10月27日の例会報告

会 長 の 時 間

10月は米山月間です。本日は、ラオスから米山奨学生のヂャルンスック・スパポーン様にお越しいただいております。後ほど卓話をお願いいたします。また、奈良RCから池永様にお越しいただいております。

先週は、米田ガバナー補佐によりますクラブアッセンブリーがあり、皆様には大変お世話になりました。次週11月3日は休会ですので、次回の例会は11月10日の平野ガバナー公式訪問となります。できるだけ皆出席で歓迎いたしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2026年10月10日付の日経新聞『春秋』の記事が印象に残りましたので、ご紹介いたします。

「史記を記した司馬遷は多くの魅力ある人物を後世に伝えている。とりわけその人柄を讃えたのが、漢の将軍、李広である。ただひたすら仕事に打ち込み、無口で、決して名声を求めたりしない。彼が亡くなると天下の人々がその死を深く悼んだという。「桃李もの言わざれども下自ずから蹊を成す」とは、司馬遷が李広を表した言葉である。桃やすももは何も語らないが、その美しい花や実に惹かれて人が集い、下に道ができる。同じように、本当の徳を備えた人には、自らを飾ったり大きく見せたりしなくても、おのずと人が集まってくる。現代にも通じる真言である。

ノーベル平和賞をめぐる昨年のごたごたを思い出した。自分こそふさわしいと言わんばかりに、公然と受賞を求めたのはトランプアメリカ大統領だ。8つの戦争を止めたなどと怪しげな功績を自ら誇示し、今年もあからさまに平和賞を欲しがった。「桃李物言わず」の桃李とはまるで正反対の振る舞いである。誰だって褒められたいし、賞をもらえるならもらいたい。しかし、それを表に出し過ぎると興ざめだ。

今年の平和賞は、トランプ氏が背を向けた国際法の秩序を支えてきたとして、ナバネセム・ピレイ元国連人権高等弁務官に決まった。声は小さくとも、平和を支える地道な努力を続ける人たちに光を当てる賞であってほしい」。

このノーベル平和賞をスウェーデンとノルウェーの選考委員が決めたらしいですけれども、大いに拍手を送りたいと思います。

幹 事 報 告

◎平野ガバナー公式訪問のご案内

11月10日（火）はネクタイ・上着の着用をお願いいたします。例会前に懇談会がございますので、関係委員の方は4階の事務所にお集まりください。

◎バナーの紹介

ロータリー財団からバナーが2本届いています。クラブ事務所に置いておきますのでご覧ください。

◎地区大会のお知らせ

2027年4月4日当日、バスをご用意いたします。8時出発で、福井まで3時間ほどかかる予定です。ご希望の方は用紙にご記入をお願いいたします。新入会員セミナーにご参加の方は、10時40分開催となりますので、該当の6名の方は別途交通手段をご用意ください。帰りは懇親会終了が17時30分の予定ですので、その後バスの出発となります。

◎名誉会員推薦の件

岡本吉行会員　吉村元嗣会員

ゲ ス ト

ヂャルンスック・スパポーン様（米山奨学生　卓話講師）
池永輪香子様（奈良RC　地区米山奨学委員）

誕 生 日 祝

牧浦　徹会員(10月31日)　杉垣輝樹会員(11月6日)
佐藤佳雄会員(11月　7日)

結 婚 記 念 日 祝

中井俊之会員(10月28日)　酒本將稔会員(11月　1日)
村野淳二会員(11月　1日)　脇本吉清会員(11月　2日)
俵本和実会員(11月　3日)　辻　修会員(11月　4日)
吉岡寛人会員(11月　8日)

創 業 記 念 日 祝

寺田俊彦会員(11月　1日)　船木克容会員(11月　3日)
山田　博会員(11月　3日)　吉川雅章会員(11月　8日)

委員会報告及びその他報告

○管理運営委員会　　杉垣輝樹委員長

第1回クラブフォーラムで各委員会に対するご要望・提言等をいただきました。本日はプログラム委員会の松村實昭委員長、趣味の会委員会の白井健雄委員長のお二方からお答えをお願いいたします。

○プログラム委員会　　松村實昭委員長

前回のクラブフォーラムでは励ましの言葉をたくさんいただきありがとうございます。危機管理委員会の卓話をしてほしいというお話がございました。ほかのご意見も含めまして、今年度反映できるところは反映させていただき、できないところは次年度に引き継がせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○趣味の会委員会　　白井健雄委員長

恵比寿倶楽部を年4回、四季ごとにやってほしいというご要望がございました。一気に4回に増やすのはハードルが高いですので、できましたら2回ぐらいに増やせればと思います。皆さんからもお店のご紹介等をよろしくお願いいたします。

また、ゴルフコンペの参加者が以前より少なくなって寂しいというご意見もいただきました。これは、私も年度初めの委員長報告でも触れさせていただいた

ことです。ジュニアの出席者は数年前と変わらない参加者数ですので、シニアの皆さんもこぞってご出席の程お願い申し上げます。

○ロータリー財団委員会　　平岡雄一郎委員長

11月はポリオ根絶活動の月間です。つきましては、皆さんの優しいお気持ちをお願いいたしたく、11月10日は受付に募金箱を置いておきます。17日には募金箱を回しますのでご協力の程お願いいたします。

○青少年奉仕委員会　　木下庄司委員長

11月8日(日)に、青少年奉仕委員会の本年度一つ目の事業といたしまして、九品寺で雅楽の体験を行います。対象は御所市内の小学校1年生から中学校3年生の方々を予定しております。皆様の中で時間に余裕のある方がいらっしゃいましたら、ぜひ九品寺までお越しください。

本日例会終了後、打合せをいたしますので、委員の方はお残りくださいますようお願いいたします。

ニ コ ニ コ 箱

・ヂャルンスック・スパポーン様、ようこそ当クラブにお越しいただきました。　　辻　修様

・ヂャルンスック・スパポーン様をお迎えして。

藤井宏典会員　村野淳二会員

・本日のスパポーンさんの卓話、よろしくお願いします。　奈良RC　米山奨学会委員会　池永輪香子様

・鈴木先輩、おめでとうございます。東京へ気を付けて行ってください。　　山田　博会員

・誕生日祝を頂いて。

牧浦　徹会員　堀内邦郎会員

卓話　米山奨学生卓話



ヂャルンスック・スパポーン様

皆様こんにちは。サイバイディー。これはラオス語でこんにちはという意味です。初めまして、ヂャルンスック・スパポーンです。ラオスから来ました。本日の発表よろしくお願いします。

今日は私の国、ラオスについて、どんな国なのか、文化について紹介します。そして、私がどうして日本で勉強することになったのか、今、天理大学でどのような大学生活を送っているのかについてもお話しします。

まずは、家族を紹介します。父、母、兄弟3人の5人家族です。妹も私と一緒に日本へ留学に来ており、天理大学の1回生として研究しています。私と妹はそっくりで、よく「双子ですか」と言われます。

次に、私の国、ラオスについて紹介します。ラオスは東南アジアにある国です。タイ、ベトナム、中国、ミャンマー、カンボジアと国境を接しています。ラオスは海に面していない国で、首都はビエンチャンです。ラオスには大きく分けて3つの季節があります。11月から2月頃は雨が少なく、少し涼しい季節です。3月から4月頃はとても暑くなります。そして、5月から10月頃は雨が多い季節です。特に、7月から9月ころは雨がたくさん降ります。

ラオスには、山や川、森林がたくさんあります。その中にも、私たちの生活にとって大切なのがメコン川です。昔から人々の生活と深く関わっています。メコン川にはイルカもいました。このイルカを見ることができたら幸運の印だと言われていました。以前はラオス南部で見ることができたのですが、漁業で使われる網や環境の変化などの影響で数が少なくなっています。

私はラオスの自然が好きです。日本で生活するようになってから、ラオスの自然やゆっくりした時間の良さを改めて感じるようになりました。

次は、ラオスの文化についてご紹介します。ラオスでは、仏教を信じる人が多く、人々の生活と深く関わっています。まちにはたくさんのお寺があり、昔から続く行事も大切にされています。その中で特に大きな行事の一つが、4月に行われるラオスのお正月です。この時期になると、遠くに住んでいる人も故郷に帰り、家族や親戚と一緒に過ごします。

まず、年上の人の手に水をかけて、幸せや健康を願います。そして、年上の人から祝福の言葉をもらいます。また、お寺や家で仏像に水をかけます。これは悪いことを流して、新しい年を気持ちよく迎えるためです。その後、家族や友達ともお互いに水をかけて遊びます。家族や親戚、友達が集まって、一緒に食事をしたり、話をしたりする時間も多くなります。ラオスでは家族とのつながりやお互いに助け合うことが大切にされていて、私も日本に来て、家族と離れて生活するようになってから、家族と一緒に過ごす時間が以前より大切に感じられるようになりました。

次は、ラオスの食べ物についてお話しします。ラオスにはおいしい食べ物がたくさんあります。その中でも、今日はラークというラオスを代表する料理を紹介したいと思います。肉や魚などを使って作り、ハーブや香辛料も使うので、とてもいい香りがします。トウガラシを少しずつ入れたりして、辛さを自分で調節することができます。

ラークには、ラオスの料理の中で特別な意味があります。ラークという言葉は幸運に結びついており、幸せになってほしいという願いが込められていることから、お祝い事や大切な日に食べます。

また、ラークはもち米と一緒に食べることが多いです。もち米を手で少し混ぜ、ラークと一緒に食べます。キャベツ、レタスなどの野菜とも一緒に食べます。

次は、私がどうして日本に来て勉強することになったのかについてお話をします。私が初めて日本に来たのは2016年のことでした。そのときは約1か月間日本に滞在しました。父がラオスで日本人と仕事をしていたこともあり、母と妹と一緒に日本に行くことになりました。いろいろな場所を訪れたり、様々な活動に参加したりしました。そのときに天理大学にも行き、いつかこの大学で勉強してみたいと思うようになりました。

ラオスに帰ってから、高校を卒業したら日本に留学したいと両親に話しました。その後、2019年にも約2か月間、日本に行きました。このとき日本のことをもっと好きになり、日本で勉強したいという気持ち

がさらに強くなりました。しかし、高校を卒業した後、新型コロナの影響ですぐに日本に来ることができませんでした。そこで、ラオスにいる間、日本語を勉強することにしました。約2年間、ラオスの日本語の先生から、週3回日本語を教えてもらいました。最初は日本語の勉強が難しくて大変でした。それでもいつか天理大学で勉強したいという目標があったので、勉強を続けることができました。

そして、2022年、コロナが少し落ち着いた頃、ついに日本に来ることができました。今は天理大学の日本学科で日本語と日本文化を習っています。大学では、日本の文化を実際に見ることができる活動もあります。例えば歌舞伎や人形浄瑠璃を見に行ったりしました。高野山に行ったときは、お寺にあるたくさんのお墓に興味を持ちました。天理大学で勉強して、私は今まで知らなかったことをたくさん知ることができました。日本語だけではなく、日本の文化や歴史、日本人の生活についても前より分かるようになりました。今後は日本語とラオス語の文法の違いを研究したいと思っています。

私自身、日本に来ていろいろなことが変わりました。自分から行動することも増えました。日本に来る前は、人の前でスピーチをしたり、発表したりすることが苦手でした。たくさんの人の前で話すときは、とても緊張して、恥ずかしいと感じていました。しかし、日本に来て、大学で勉強するようになってから、授業で発表したり、スピーチをしたりする機会が多くなりました。奈良女子大学の日本語スピーチ大会にも出ました。今回のように、皆様の前で、自分の国や自分の経験についてお話しできることも私にとって大きな成長だと思います。

最後に、日本で学んだことと、これからの目標についてお話をします。日本に来て、日本語だけではなく、日本の文化や歴史、いろいろな人の考え方を学びました。また、大学生活を通じて、国籍を越え、言葉を使ってお互いに協力することが大切だと学びました。これからも日本にいる間にできるだけ多くのことを学び、いろいろな経験をしたいです。そして、日本で学んだことを将来ラオスのために生かしたいと思っています。私は日本とラオスの文化や人々をつなぐことができる人になりたいです。日本で学んだことをラオスの人たちにも伝え、日本とラオスがお互いをもっと理解できるような架け橋になりたいと思います。将来はラオスで日本語の通訳をしたり、日本語を教えたりする仕事ができたらと思っています。

今日の私のお話を聞いて、少しでもラオスに興味を持っていただけたらうれしいです。機会がありましたら、ぜひラオスを訪れて、ラオスの文化や食べ物、人々の生活を体験してみてください。

青少年奉仕委員会事業報告

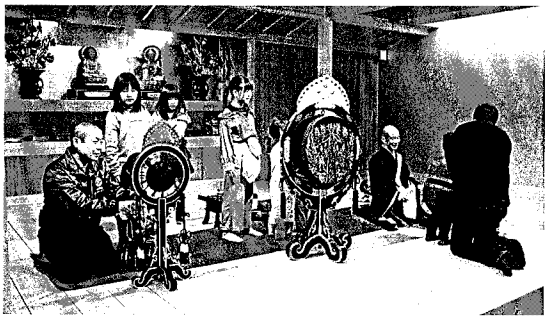
親子で楽しむ お話し お守りづくり 雅楽体験 スタンプラリー in 九品寺

２０２６年11月8日(日)、戒那山 九品寺において、小学生～中学生および保護者の方々を対象に青少年奉仕委員会事業が開催されました。当日は、九品寺の宿泊施設「三蔵」に約３０名の参加者にお集まりいただきました。

前半は、清水ご住職よりお寺の歴史やお守りに込められた意味を教わり、参加者の願い事を書き入れたお守りづくりとお性根入れ、雅楽の演奏を聴かせていただいた後、楽器に触れる体験をすることができました。



◀辻会長よりご挨拶



▶雅楽体験

後半はスタンプラリーとして、境内に散りばめられた6つのポイントを巡りながらスタンプを集めました。6つのスタンプを集めることで机の上に飾ることのできる1枚の絵が完成するので、子どもたちは見本を参考に慎重にスタンプを押していました。





◀▼スタンプラリーの様子

出席報告	会員総数	出席義務会員数	義務会員出席数	義務会員欠席数	義務会員MU	出席免除会員数	免除会員出席数	免除会員MU	出席率
10月27日	80	55	47	8	0	25	17	0	88.89%
10月20日	80	55	51	4	0	25	7	0	94.44%
10月６日	80	55	45	10	5	25	18	0	93.15%
※10月20日は弁当残数０個を達成しました。引き続きご協力をお願いします。									